

第49回 全国高等学校柔道選手権大会（団体試合）兼  
第68回 近畿高等学校柔道新人大会（団体試合）奈良県予選 実施要項

主催 奈良県高等学校体育連盟  
後援 奈良県柔道連盟、奈良県教育委員会  
主管 奈良県高等学校体育連盟柔道専門部  
日時 令和 8 年 11 月 14 日（土）午前 11 時 開会式 男子・女子団体試合  
計量 女子団体試合出場者  
令和 8 年 11 月 14 日（土）公式計量 9 時 40 分～10 時 00 分  
再計量 10 時 00 分～10 時 20 分  
大会会場で計量を行う。

会場 ロート奈良第二武道場  
奈良市法蓮佐保山4-6-3 Tel 0742-27-6163

参加申し込み及び抽選会

- 1 日時 令和 8 年 11 月 13 日（金） 午後 2 時（時間厳守）
- 2 抽選会場 奈良県柔道連盟事務所 順正館  
天理市川原城町358 Tel 0743-62-1315
- 3 申込方法 別紙申込用紙に必要事項を記入し、抽選会当日に申し込むこと。  
郵送又は電話による申し込みは受理しない。

試合要項

- 1 競技規則（最終決定は、抽選会で決定する。）
  - (1) 国際柔道連盟試合審判規定ならびに（公材）全国高体連柔道専門部及び近畿高体連柔道専門部の申し合わせ事項による。
  - (2) 試合時間は 3 分間とする。
  - (3) 「優勢勝ち」の判定基準は、「有効」または「僅差」（「指導」差 2）以上とする。
  - (4) チームの内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦の方法は「2 競技方法」で定める。
- 2 競技方法
  - (1) 男子の部
    - ① 試合は、トーナメント戦及びリーグ戦とする。
    - ② 試合は各チーム 5 名で行う。試合ごとのオーダーの変更を認める。
    - ③ 各チーム間の試合は、点取り試合とする。
    - ④ トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
      - ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
      - イ アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
      - ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
      - エ ウで同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
      - オ エで同等の場合は、代表戦を行う。

代表戦は代表選手を任意に選出して行う。代表戦の「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」（「指導」差 2）以上とし、試合終了時に得点差がない場合、もしくは、「指導」差が 1 以下の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。
  - ※ 代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限

で行い、勝敗を決する。

⑤ 準決勝戦で負けた4チームは、リーグ戦により近畿大会出場校を決定する。

⑥ リーグ戦は、勝ち抜き試合とする。

## (2) 女子の部

① 試合は、トーナメント戦とする。

② 各チーム間の試合は点取り試合とする。

③ 試合は各チーム3名で行う。試合ごとのオーダーの変更は行わない。

④ トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

イ アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

エ ウで同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

オ えで同等の場合は、代表戦を行う。

代表戦は「引き分け」対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。代表戦は、「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、「引き分け」対戦がない場合は、両者「反則負け」などで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、「引き分け」対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。

\*代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

⑤ 準決勝戦で負けた4チームは、リーグ戦により近畿大会出場校を決定する。

## 3 参加資格

(1) 奈良県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒である。

(2) 他は全国高等学校柔道選手権大会の参加資格に準じる。

## 4 参加制限

### (1) 男子の部

① チーム編成は1校1チームとし、全日制・定時制・通信制課程の混成は認めない。

② チームの編成は、監督1名・選手7名の8名とする。ただし、選手は3名でもよい。

③ 外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

### (2) 女子の部

① チーム編成は1校1チームとし、全日制・定時制・通信制課程の混成は認めない。

② チームの編成は、監督1名・選手3名・補欠2名の6名とする。ただし、選手は2名でもよい。

③ 体重区分は次のとおりとする。(近畿高校柔道新人大会に準じる。)

先鋒：52kg以下、中堅：63kg以下、大将：無差別（体重の軽い者は重い階級に出場できる。）なお、補欠は該当する階級に出場できる。

④ 近畿高校柔道新人大会（個人試合）及び全国高等学校柔道選手権大会（個人試合）県予選にエントリーした階級から、体重区分を変えることはできない。

⑤ 計量にパスしない者は出場できない。（無差別も計量を行う）

⑥ 外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

## 5 表彰

(1) 男女とも上位4校には、表彰状を授与する。

(2) 男子は優勝校・準優勝校、女子は優勝校が、第49回全国高等学校柔道選手権大会に出場することができる。

(4) 男女とも上位6校は、第68回近畿高等学校柔道新人大会（団体試合）に出場することができる。